

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成24年を初年として、今回で2回目の実施となる。

2 調査の対象及び客体

平成24年10月末時点で20～29歳であった全国（福島県の一部地域を除く。）の男女（及びその配偶者（ただし、第1回調査実施時に把握した配偶者に限る。））を対象とし、そのうち、第1回調査において協力を得られた者等を客体とした。

3 調査の期日

調査の周期 毎年1回（11月の第一水曜日）

調査の期日 第2回調査 平成25年11月6日（水）

4 調査票の種類

（1）男性票 （2）女性票

5 調査の事項

（1）男性票 …… 仕事の有無、就業形態、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数、子ども観、家事・育児時間、親との同居の有無、前年の所得等

（2）女性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事と子育ての両立支援制度の状況、配偶者の有無、子ども数、希望子ども数、子ども観、家事・育児時間、親との同居の有無、前年の所得等

6 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

7 調査の系統

厚生労働省 ————— 被調査者
郵送

8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となって以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	17,622	9,262	8,741
(再掲) 配偶者票 ^(注)	726	430	391
女性票	17,202	10,320	9,771
(再掲) 配偶者票 ^(注)	263	173	155
計	34,824	19,582	18,512

(注) 配偶者票とは、第1回調査における配偶者票対象者をいい、第2回調査においては、男性票又は女性票の対象者として調査を実施している。

(参考) 第1回からの調査客体数と回収客体数 (第1回調査における男性票及び女性票の対象者)

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～29歳	38,879	31,122	80.0%
第2回	21～30歳	33,835	18,979	56.1%

※ 第1回は、調査員調査により実施